

4 - 11 北陸地方の水平変動

Horizontal Movements in Hokuriku District

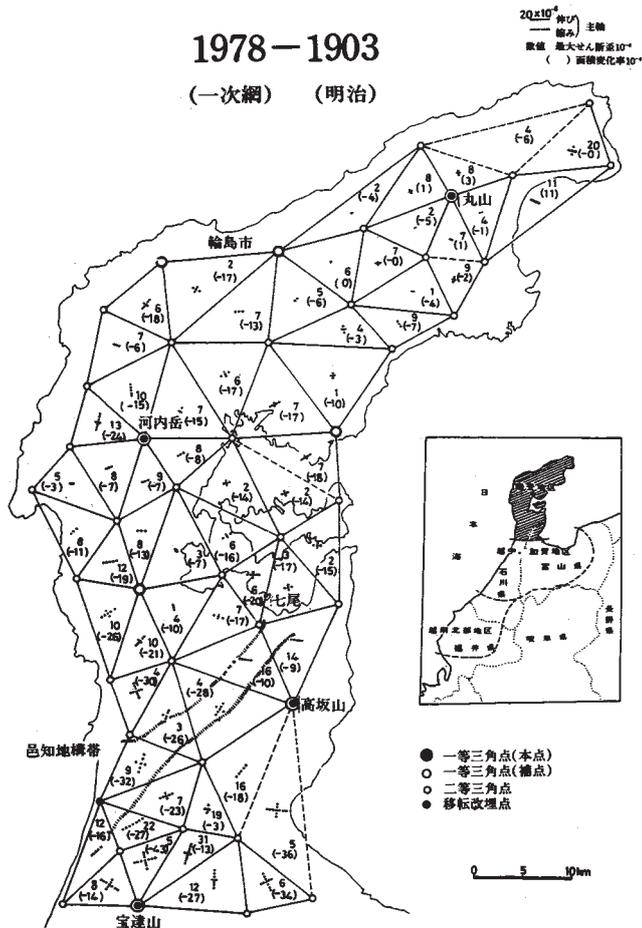
国土地理院 測地部

Geodetic Department, Geographical Survey Institute

昨年度、北陸地方で実施した精密測地網一次基準点測量の結果を報告する。能登地方および越中加賀地方とも今回（1978）の一次基準点測量によって明治成果（1903）との比較が行われ、約80年間の水平変動が求められた。第1図、第2図で示されるとおり、両地方とも変化量が小さく、顕著な動きは認められない。第3図の越前北部（福井）地方では、1948年の福井地震の起きた地域に、その影響が集中し、域内の他の部分では能登、越中加賀地方と同じ傾向である。越前北部については福井地震の直後に復旧測量が行われていて、第4図(a)、第4図(b)においてそれぞれ一次網—震災改測、震災改測—明治の比較がなされている。第4図(b)では福井地震の影響は断層線に沿って大きく認められるが、第4図(a)において、地震地域の中央に測点がないので一概に言えないにしても、今回の一次基準点測量と震災改測の間では顕著な変化はない。

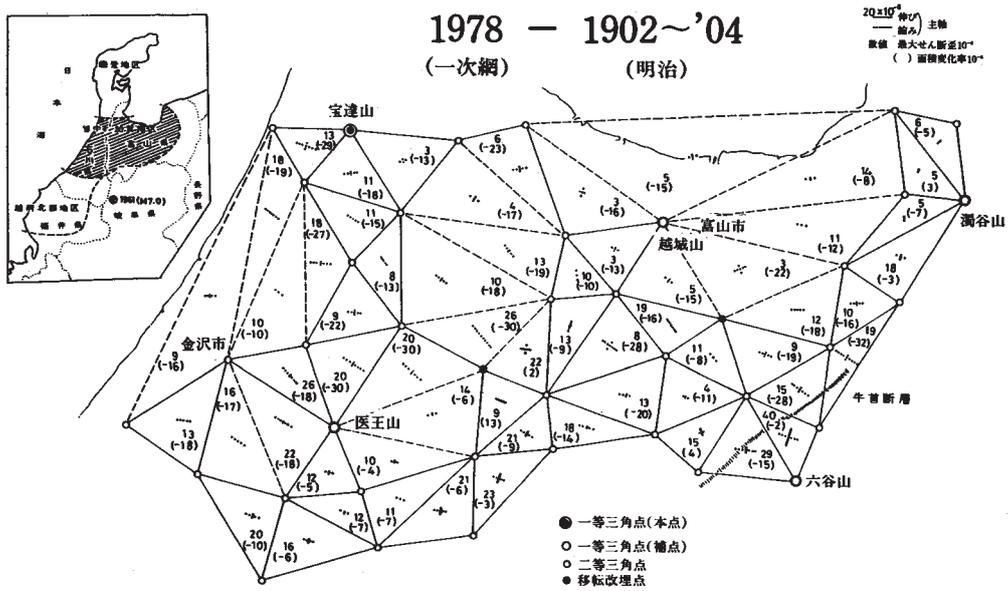
参 考 文 献

国土地理院地殻調査部：中部地方の精密測地網一次基準点測量結果，連絡会報，20（1978），162 - 163。



第1図 能登地区の水平歪

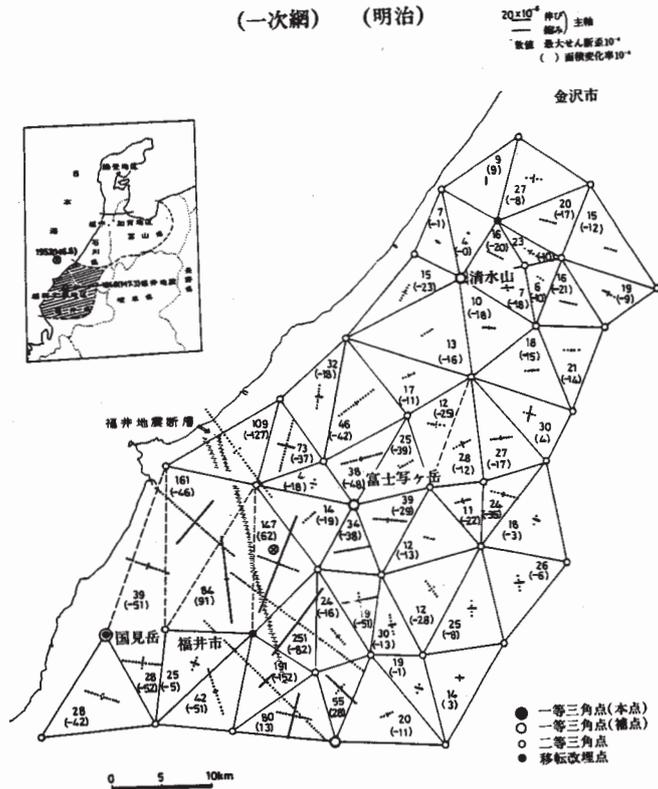
Fig. 1 Horizontal strain in Noto District.



第2図 越中，加賀地区の水平歪

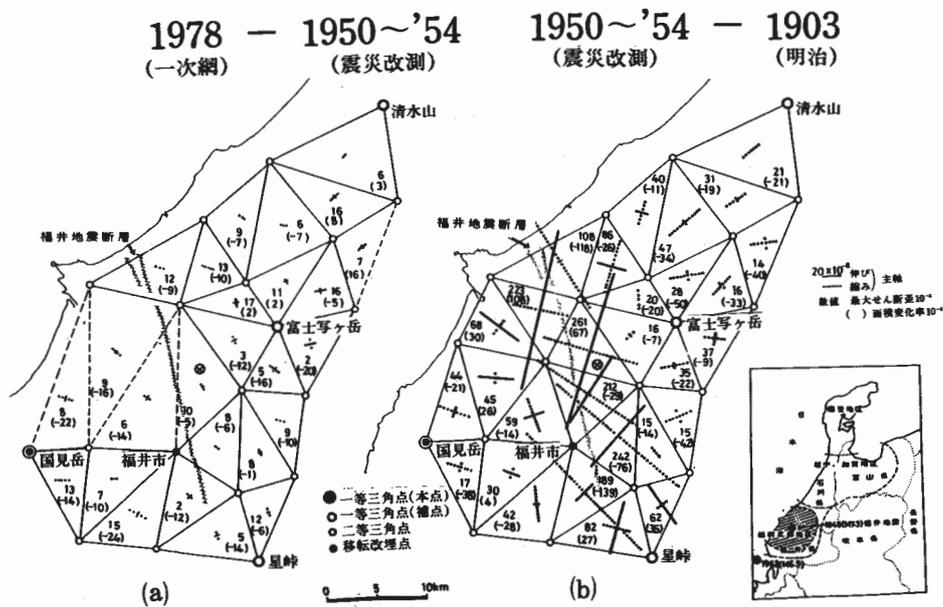
Fig. 2 Horizontal strain in Etchu and Kaga Districts.

1978-1903
(一次網) (明治)



第3図 越前北部地区の水平歪(1)

Fig. 3 Horizontal strain of the northern part of Echizen (1).



第4図 越前北部地区の水平歪(2)

Fig. 4 Horizontal strain of the northern part of the Echizen (2).